

令和6年度 事業報告書

障害児通所支援 ちゃーむ

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日 中 活 動	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	スケジュール提示により利用者が自ら行動できるよう支援した。また、個別に課題を提供することで個々の成長に繋げることができた。自由時間を楽しく過ごせるように、利用者の意見を取り入れた活動を提供した。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園や公共施設への外出を通して、基礎体力と心身の健康増進を図る。	夏休みには様々な施設へ見学に行き、日常とは違った体験をすることができた。公園遊びでは、鬼ごっこ等体を十分動かす活動に取り組んだり、遊具遊びから挑戦する気持ちを養った。また、散策を通し、季節の移り変わりに触れながら体力作りを行った。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指先を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	一つずつ作業を重ねることで完成させる喜びや達成感を味わうことができた。素材を変えたり作業を変えて提供することで、指先を使う練習になったり、得意不得意の確認にも繋がった。また、季節に合わせた製作活動することで季節の変化に触れることができた。
	スヌーズレン	通年	全員対象	通年	聴覚・視覚・触覚・味覚・嗅覚の五感を使って、トータルリラクゼーションの心地よい空間を提供する。	視覚、触覚等の心地よい刺激と落ち着いた空間を使用することで、気持ちの安定や切り替えを図ることができた。
	ミュージックケア	通年	全員対象	月2回	音楽の特性を利用して、心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに運動感覚や、知的機能の改善を促し、心身と生活に好ましい変化を与える。	曲の変化に合わせて体を動かし、運動感覚に刺激を与えたり、音楽を聴きながら楽器を鳴らすことで聞く力や判断する力を養った。また、音楽に合わせて他者と同じ動きをする中で、コミュニケーションを図ることができた。
	美化活動	通年	全員対象	月1回	花壇の整備、草むしり、窓ふき等環境美化を行う。	掃除をする場所を自ら選び行うことで、責任感を持ち取り組むことができた。また、綺麗にできたことで、達成感を感じることもできた。

B 各 種 療 法	キッズヨガ	通年	全員対象	月2回	心と身体両方に作用するヨガを通して健康な身体を作ると同時に、精神の落ち着きを得ることで自己肯定感などを高め、豊かな人間性を育成することを目的に行う。	静かな動きの中で体幹を鍛え、気持ちの安定を図った。講師のポーズを見て真似ることが難しい利用者には職員が付き添い一緒におこなうことが必要だった。
	フラ体操	通年	全員対象	月1回	フラダンスをベースとした体操で脳の活性化、健康増進を目的に行う。	フラダンスの曲の他、児童に人気がある最新の曲に合わせて表現することで楽しみながら体を動かすことができた。
	運動遊び	通年	全員対象	通年	楽しく体を動かすことで、走る・転がる・飛び跳ねる・渡るといった基本的な動作を養い、体の動きをコントロールすることで、苦手な動作や不器用さの改善を図る。	基本的な動作の他にも、体幹を鍛えるポーズをおこなったり、雑巾がけやゲームを通して楽しみながら体を動かすことができた。
	療法的な音楽の時間	通年	一部利用者	月1回	いわき音楽療法研究会MusicForestのご協力のもと、音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を鳴らしたりする中で心や体を刺激し、生活向上と機能回復を目的とする。	季節の歌や曲に合わせて体を動かしたり、音段に触れることの少ない楽器に触れることで、楽しみながら表現活動ができた。また、楽器の他にもボールや布やゴム等、様々な物を使い楽しみながら体を動かすことができた。
	生活訓練	通年	一部利用者	月2回	作業療法士の指導のもと、遊びを中心とした様々な作業活動を通して、個々の利用者の発達課題(運動機能、日常生活機能、学習基礎能力、心理社会的発達等)や現在・将来にわたる生活を考慮した支援を行う。	遊びや活動を通して、個々の発達課題や必要な対応方法について、助言をいただき、支援の中に活かした。作業療法士の助言により練習したことで、ジャンプができるようになったり縄跳びが飛べるようになった利用者もいた。
	陶芸療法	6月	全員対象	年1回	粘土を掴んだり、握ったりする作業から、手指の発達を促す。子どもの創造性を育み、作ることの楽しさや喜びを体験する。	箸置きを作った。型抜きをしたり、自ら成形することでそれぞれが好きな形を作り、焼成後にアクリル絵の具で色塗りをする体験もできた。
	遊戯療法	通年	全員対象	通年	遊びを通して、自らの問題状況や、言語化できない感情を表現することを目指す。	安心した空間設定の中、遊びや集団活動を行うことで、本人の思いが行動を通して見られた際は、本人の思いを汲み取りながら、支援へと繋げた。

療育

C 療 育	SST (社会生活技能訓練)	通年	全員対象	通年	人との関わり・行動をより適切で効果的に行うことができるよう社会的スキル訓練を行う。また、学習理論(行動理論)に基づく技法を用いて体系的、意図的に対象者の技法形成を図る構造化された方法で本人の強さを引き出す。	個々の特性に合わせた資料を用意し提示した。身に付くまでは繰り返し提示したり、目に入る場所に提示し自ら確認できるようにした。高等部の利用者に対してはグループワークをおこない、自ら考えて意見を出すことをおこなった。
	TEACCH	通年	全員対象	通年	周囲の状況を自分の力で理解し、自分に必要な情報を選び出し、適切な行動ができるよう障害や能力に合わせて構造化した環境を整え、視覚的支援をする。	パーテーションやカーテン、個室を使用し、それぞれの利用者が安心して過ごせるよう環境整備をおこなった。スケジュールや出かける場所等を視覚的に伝えることで、見通しが立てられ、児童が自ら行動できるよう支援した。一週間の行事予定を個別に提示する等、利用者の特性に合わせたスケジュール提示を取り入れた。

関係機関との連携強化

児童発達支援	通年	全員対象	通年	身近な地域の障害児支援の専門事業として、通所利用の障害児の受け入れだけでなく、地域の障害児・その家族を対象とした支援や保育所等の障害児を預かる施設に対する援助を行う。	保育所等と児童に対しての共通理解を図り、必要な支援ができるよう行った。また、小学校入学に際し、小学校と情報共有を行った。
家族支援	通年	全員対象	通年	保護者に対して子どもの育て方の助言を行う。肯定的な見方で適切な関わりを身に付けることによって、障害による症状や改善、子どもが感じている困難の軽減に繋げる。また、家族を含めたトータルな支援を図っていく。	定期的なアンケート、連絡帳、保護者とのコミュニケーション等で保護者の思いや子育てについて傾聴し、助言を行った。また、必要に応じて、保護者が話しやすい時間や環境を設けた。児童からも、困難な状況の聞き取りを行い、状況の改善、精神の安定へとつなげた。
ケアマネジメント	随時	各関係者	随時	必要に応じて、教育や就労分野、地区センターと連携し支援会議の開催を進める。さらに、学齢期への移行時、進学時、卒業時などにおいて、支援の切れ目が生じないよう連携を図る。	必要に応じて、教育や地区センターと協力をし、支援会議を開催した。支援が困難であった利用者の対応の為、障がい者相談支援センターへ相談し、児童発達支援センターへと繋げて頂き、センターから直接助言を受け支援の改善をおこなうことができた。
法人内連携	随時	法人内関係者	随時	相談支援事業を通し、本人や家族が必要としている制度の説明やサービス等を安心して利用できるよう円滑化を図る。	必要なサービスが提供できるよう相談支援事業所や他事業所等と連携を図った。

地域力を高める

外食 (テイクアウト含む)	4月・11月・ 2月・3月	一部利用者 (16名)	年4回	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	偏食の利用者が多く、皆で同じものを食べることが難しく、2店舗で選択制にする等しながらテイクアウトでの食事を行うことが多かった。事前にメニューを提示し自己選択・自己決定ができるようにした。また、家族から情報収集することで、好きなものを食べることができた。
買物	6月	一部利用者 (9名)	年1回	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	決められた金額の中で、好きな菓子や食べたいものを選び、自分で支払う等買物の一連の流れを行った。自ら購入したものを昼食やおやつとして食べることで、満足感が得られた。
ボランティアの活用				ボランティア受け入れを積極的に行うことにより、障害児通所支援の認知を広める。	行わなかった。
公共の交通機関の利用	9月	一部利用者 (5名)	年1回	就労を見据えて、公共の交通機関利用(バス・電車)の訓練を行う。	電車に乗車する練習をおこなった。職員と一緒に切符を購入したり、自動改札を通る体験をおこなった。

地域貢献・社会貢献

実習生受け入れ	9月～10月	全員対象	年1回	実習生を積極的に受け入れ、障害児に対する支援や交流等を通し福祉人材の育成に貢献する。	行わなかった。
高齢者との交流				子どもたちと高齢者のつながりが、希薄になっている状況において、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、子どもたちが高齢者と触れ合い、高齢者から学んでいくことを目的とする。	新型コロナウイルス感染予防のため行なわなかった。
地域の清掃活動	通年	全員対象	通年	近隣の公園や公共施設のゴミ拾い等を行い、地域の環境保全に協力する。	美化活動の際、公園のゴミ拾いを実施した。ゴミを拾うことで、皆が気持ちよく使用するために必要なことについて考える機会となった。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和6年4月 ～ 令和7年3月	a. 職員会議(随時) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第三者との懇談会(2月) e. 経営者会議(月1回) f. 次年度事業計画策定会議(12月～2月) g. リスク会議(随時) h. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和6年9月	法人内部監査

研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人外	令和6年8月、7年2月	児童発達支援管理責任者フォローアップ研修
	令和6年8月	障がい者虐待防止研修(基礎編)(動画視聴)
	令和6年9月、12月、7年3月	障害児通所支援事業所連絡会
	令和6年9月	障がい者虐待防止研修(実践編)
	令和6年9月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修
	令和6年10月	相談支援ネットワーク会議
	令和6年11月	普通救命
	令和6年11月	障害児・者の防災・避難講座
	令和7年 1月	児童虐待防止啓発講演会
	令和7年 2月	児童発達支援管理責任者スキルアップ研修
	令和7年 3月	いわき福祉懇話会・福島県知的障害者福祉協会地域支援部会講演会

その他の事業
なし

令和6年度 活動内容実績

ちゃーむ

月	児童発達支援			放課後等デイサービス			延人数		
	(幼)男子	(幼)女子	合計	(児)男子	(児)女子	合計	男子	女子	合計
4月(26)	3	2	5	18	4	22	239	68	307
5月(27)	3	2	5	18	4	22	228	65	293
6月(25)	3	2	5	18	4	22	209	67	276
7月(27)	3	2	5	18	4	22	238	65	303
8月(27)	3	2	5	18	4	22	226	53	279
9月(25)	3	2	5	18	4	22	212	58	268
10月(27)	3	2	5	18	4	22	235	63	298
11月(26)	3	2	5	18	4	22	209	62	271
12月(24)	3	2	5	18	4	22	204	51	255
1月(24)	3	2	5	18	4	22	226	53	279
2月(24)	3	2	5	18	4	22	213	54	267
3月(26)	3	2	5	18	4	22	221	58	279
合計	36	24	60	216	48	264	2680	715	3375

利用者数

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
5	3	0	4	3	2	1	18

中学1	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	計
0	0	3	1	3	2	9

学校名

保育所	幼稚園	自宅	いわき支援	小名浜西小	小名浜三小	泉北小	合計
1	3	1	17	2	2	1	27

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	ADHD	その他	合計
15	1	3	3	5	27

手帳等級

療育A	療育B	身体・4	身体・5	手帳なし	合計
6	13	0	0	8	27

令和6年度 事業報告書

日中一時支援事業 ちゃーむ

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日 中 活 動	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの利用者の欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	利用者の意見を取り入れながら活動を提供した。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園や公共施設への外出を通して、基礎体力と心身の健康の増進を図る。	様々な公園へ出かけられることを楽しんでいく。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	本人の希望に応じて提供した。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和6年4月 ～ 令和7年3月	a. 職員会議(随時) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第三者との懇談会(2月) e. 経営者会議(月1回) f. 次年度事業計画策定会議(12月～2月) g. リスク会議(随時) h. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和6年9月	法人内部監査

研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人外	令和6年8月、7年2月	児童発達支援管理責任者フォローアップ研修
	令和6年8月	障がい者虐待防止研修(基礎編)(動画視聴)
	令和6年9月、12月、7年3月	障害児通所支援事業所連絡会
	令和6年9月	障がい者虐待防止研修(実践編)
	令和6年9月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修
	令和6年10月	相談支援ネットワーク会議
	令和6年11月	普通救命
	令和6年11月	障害児・者の防災・避難講座
	令和7年 1月	児童虐待防止啓発講演会
	令和7年 2月	児童発達支援管理責任者スキルアップ研修
	令和7年 3月	いわき福祉懇話会・福島県知的障害者福祉協会地域支援部会講演会

その他の事業

なし

令和6年度 活動内容実績

日中一時支援事業 ちやーむ

月	未就学男子	未就学女子	合計	小学男子	小学女子	合計	中学男子	中学女子	合計	高校男子	高校女子	合計	総計	延人数		
														男子	女子	合計
4月(26)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
5月(27)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
6月(25)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
7月(27)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
8月(27)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
9月(25)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
10月(27)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
11月(26)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
12月(24)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
1月(24)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
2月(24)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
3月(26)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2
合計	0	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	24	24